

キャベツ株周辺のクモ類		
定植後20日	40日	60日
	観察適期	
	結球開始期 	 観察ポイント



左:ヒメグモ科、右:サラグモ科クモ類

左:アブラムシを捕食中のクモ類、
右:地表面を歩行中のクモ類

・ 観察に適した作型は6月中旬～7月定植

クモ類は、6月中旬～7月定植の作型で安定して観察される。これ以降の作型では、発生している個体数が少ないことがある。

・ 観察適期は定植してから40日後

定植20～30日後の結球開始頃から個体数が増加する。生育が進んでキャベツが大きくなると株間が葉で覆われ調査しづらくなる。

・ 2～3カ所でそれぞれ20株程度観察する

ほ場の2～3カ所で連続した20株程度を対象に観察する。キャベツほ場では、様々なクモ類が見られる。クモが見つからない場合はさらに数カ所観察する。

・ 葉の裏や葉と地面の間を観察する。

クモ類は、葉の上より葉裏に多く見られる。また、外側の大きな葉(下位葉)の裏面や地面と葉の間に巣をつくっていることが多く、巣の近くに隠れていることもある。観察にあたっては、キャベツの葉を折らないように注意して葉をめくる。